

専科動法講座「装いにおける和の研究会」開催のご案内

晴風学舎ではなぜ稽古着が奨励されるのか。

着物を着るということを掘り下げること、日本人の身体感覚をさぐる専科動法講座を開催いたします。

言うまでもなく「着物を着る」という事の中には、季節によって袷、単を着分ける感覚の違い、普段着と礼装の感覚の違い、日本の各地方の布をまとった時の感覚の違いなど、稽古法を研究する題材にあふれています。

また、着物を着ることによって生まれる動作の制限は、おのずと動法の学びに直結し、そこからさまざまな文化への広がりの可能性を見いだすことができます。

今回の講座では、「着付け」から「女動法」へと進み、その身体が発する日本語の言葉や歌謡へと思いを馳せます。これらを一つの流れで稽古することで、「動けない・できない・感じない」をゆっくり経験し、今日の身体に纏った衣が、最後には身体になじんで消えていくような稽古を目指します。

稽古会概要

日時 .. 二〇二六年九月十八日(金)、十月十六日(金)、十一月二十日(金)
各回 十二時～十五時

会場 .. 狛江稽古場 (狛江市元和泉二―十四―二)

担当 .. 松本多佳子 (技術研究員) / 小泉明美 (技術研究員) / 佐草夏美 (動法教授者)

会費 .. 三回通し 一万円 (単発参加はありません)

条件 .. 女性限定。晴風学舎会員であること。

種目 .. 日本の服飾文化の研究

持ち物 .. 長着 (浴衣も可)、

長襦袢 半襦袢のどちらか、肌着、裾除け、

伊達締め一本、腰紐三本、

半幅帯、帯板、帯締め、足袋、手拭い、風呂敷 (着付け一式を置きます)

ご予約:(電話) 080-32253-8522 (佐草)

(メール) jasmirule@yahoo.co.jp